

学科名	情報学科						
科目名	データベース演習						
科目区分	専門科目	単位数	専門	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	大木優・高橋圭一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係の正規化を行うことができる。</li> <li>・SQL言語を使って、データベースを操作することができる。</li> <li>・与えられた課題を基に、データベースを設計することができる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>9月14日 導入講義：講義全体の概要。演習環境の解説、基本設定。ACCESSの使い方  9月19日 ACCESSの使い方 ACCESS (0)  9月28日 ACCESS (0)  10月5日 ACCESS (1)  10月10日 ACCESS (2)  10月19日 ACCESS (3)  10月26日 ACCESS (4)  11月2日 ACCESS (4)  11月9日 データベースシステムのインストールと使い方 HSQLBの使い方、SQL演習 (1)  11月16日 SQL演習 (2)  11月30日 SQL演習 (3)  12月7日 SQL演習 (4)  12月14日 SQL演習 (4)  12月21日 机上演習  1月18日 データベースの小テスト (1)</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	100%	実技 部外評価 プレゼンテーション	計	100%		
授業到達目標の達成度	<p>到達目標に対しては概ね達成した。  演習後半では、基本情報技術者の午後の問題の2回分を課題としているが、合格基準の60点を超える解答率は45%、51%である。2つの問題でほぼ半数の学生が合格できるレベルというのは、座学、演習での授業・問題を解いている効果が出ていると考えている。</p>						
反省点	<p>演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価を行ったが、使いにくい点があったので、改善したい。コピペができないエディタを使ったので、簡単なコピペで課題を出すことは少なくなった。しかし、すべての項目について、評価点が低いので、工夫をする必要がある。課題にミスプリントなど少なくなかったため、減少させたい。</p>						
来年度の計画	<p>引き続き、演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価する。さらに、他の人からのコピー＆ペーストができないエディタも使用を継続したい。この2つのプログラムはまじめに行っている学生からは不要なものであるが、不真面目な態度での受講は難しくなる。教室全体の演習への態度が向上すると考えている。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>例年通り「課題が多すぎる。」という意見があった。ただし、定期試験では高得点者も多く、演習の効果もあったのではないかと考えている。しかし、総合評価が7.4と低い。これは、特に、下位の評価をした学生の影響が少なくないと思われる。後半の演習で行った基本情報技術者の合格基準を超えている比率から判断すると、座学、演習での学習は、おおむね良好と判断している。</p>						
履修登録者数	75名	定期試験 受験者数	68名	合格者数	67名	合格率	99%